



Involvement of mPOU(Brn-5) a class VI POU protein in the gene expression of Pit-1 as well as PRL

戸田, 圭三

(Degree)

博士（保健学）

(Date of Degree)

2008-03-25

(Resource Type)

doctoral thesis

(Report Number)

甲4233

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/D1004233>

※ 当コンテンツは神戸大学の学術成果です。無断複製・不正使用等を禁じます。著作権法で認められている範囲内で、適切にご利用ください。



氏 名 戸田 圭三
博士の専攻分野の名称 博士（保健学）
学 位 記 番 号 博い第 56 号
学位授与の要 件 学位規則第 5 条第 1 項該当
学位授与の日 付 平成 20 年 3 月 25 日

【 学位論文題目 】

Involvement of mPOU(Brn-5) a class VI POU protein in the gene expression of Pit-1 as well as PRL (プロラクチンおよび Pit-1 遺伝子発現における mPOU(Brn-5)の関与)

審 査 委 員

主 査 教 授 伊藤 光宏
教 授 渡邊 信
教 授 松村 末夫
准教授 置村 康彦

論文内容の要旨

氏名 戸田 圭三

Involvement of mPOU (Brn-5), a class VI POU protein,
in the gene expression of Pit-1 as well as PRL

(プロラクチンおよびPit-1 遺伝子発現における mPOU (Brn-5) の関与)

下垂体前葉ホルモンであるプロラクチン(PRL)の発現調節機構において、下垂体特異的な転写因子である Pit-1 が極めて重要な役割を果たすことが報告されている。しかし、他の因子の作用も重要であり、PRL 遺伝子のプロモーター内に散在する Pit-1 結合部位への Pit-1 の結合に加え、さらに他の転写因子・co-factor がそこにリクリートされることによって、PRL 遺伝子発現が強力に活性化される。今回検討した mPOU はその様な因子の一つであり、yeast-two ハイブリッドシステムにより、PRL プロモーター内の Pit-1 結合部位に結合する Pit-1 以外の転写因子として、ヒト下垂体 cDNA ライブラリーからクローニングされたものである。

mPOU は Pit-1 と同じ POU ファミリーに属する転写因子で、POU specific domain と POU homeodomain から構成される POU ドメインを有する。ヒト以外では、Brn-5(ラット)、Emb(マウス)、POUc(ゼブラフィッシュ)が orthologue として同定され、これらの蛋白レベルでの検討では脳や中枢神経系での発現が強い。下垂体においては PRL 産生細胞に存在し、ACTH 産生腫瘍や非機能性下垂体腫瘍には発現しないことが報告されているが、下垂体における内因性 mPOU(Brn-5) の意義は明確ではない。そこで今回、Brn-5 を RNA interference (RNAi) でノックダウンすることにより、ラット PRL 産生細胞である GH3 細胞における Brn-5 の生理学的意義を明確にすることを試みた。

Brn-5 small interfering RNA または Brn-5 short hairpin RNA を用いて、内因性 Brn-5 mRNA をノックダウンした GH3 細胞では、対照群に比べて PRL mRNA 量は減少傾

向をしめし、細胞中の PRL 蛋白量は有意に低下した。さらに、PRL 遺伝子発現を活性化する Pit-1 の mRNA 量も有意に低下していた。

mPOU が直接 PRL、Pit-1 遺伝子発現に及ぼす影響を明らかにするために、GH3、HEK293 細胞に mPOU 発現ベクターおよび PRL、Pit-1 レポータープラスミドをトランスフェクションし一過性発現実験を行ったところ、mPOU はいずれの細胞においても、Pit-1 結合エレメントを有する 0.6kb PRL-Luc レポータープラスミドと 0.6kb Pit-1-Luc レポータープラスミドの転写活性を亢進させた。この成績は、mPOU は PRL 遺伝子発現のみならず、Pit-1 遺伝子発現をも亢進させ、直接的および間接的に PRL 遺伝子発現を増加させる可能性を示唆する。また、PRL プロモーター中に 4つ存在する Pit-1 結合エレメントのうち、最も近位にある Pit-1 結合エレメントである 1P を変異させた mutant 0.6kb PRL-Luc レポータープラスミドでは mPOU の転写活性亢進作用を認めなかつたことより、PRL 遺伝子における mPOU の作用点として 1P を介することが示唆された。

今回行った一過性発現実験において、mPOU は PRL 転写活性を単独で亢進したが、その作用は Pit-1 より弱かった。しかし、Pit-1 を mPOU を共にトランスフェクションすることにより、PRL 転写活性は相乗的に増加した。また、ヒストンをアセチル化する酵素活性を有し、転写コアクチベーターとして機能する CBP を同時にトランスフェクションすることによっても、mPOU の PRL 遺伝子発現促進作用が亢進した。

ゲノム DNA においても、mPOU が PRL、Pit-1 遺伝子に結合し得るのか明らかにするため、Flag-mPOU を発現させた GH3 細胞を使用して ChIP assay を行った。抗 Flag 抗体により免疫沈降したサンプルをテンプレートとしたとき、PRL、Pit-1 プロモーターに由来する PCR 産物は増幅されたが、マウス IgG を使用し免疫沈降を行った対照群ではその増幅は明確ではなかった。

以上の成績より、mPOU は 1P を介して Pit-1 と相乗的に PRL 遺伝子発現を亢進させること、さらにその直接機構以外に、mPOU は Pit-1 遺伝子発現の活性化を介して間接的に PRL 遺伝子発現を亢進させることが考えられ、mPOU による新たな PRL 遺伝子発現活性化機構の存在が示唆された。

論文審査の結果の要旨

氏名	戸田圭三		
論文題目	Involvement of mPOU (Brn-5), a class VI POU protein, in the gene expression of Pit-1 as well as PRL (プロラクチンおよびPit-1遺伝子発現におけるmPOU(Brn-5)の関与)		
審査委員	区分	職名	氏名
	主査	教授	伊藤光宏
	副査	教授	松村末夫
	副査	教授	渡邊信
	副査	准教授	置村康彦
要旨			
下垂体前葉ホルモンPRLの転写はPit-1など下垂体特異的転写因子の協調的な調節を受けている。PRLプロモーターのP1エレメントに結合する転写因子mPOUはPit-1と相乗的にPRLレポーター遺伝子活性を上昇させることができて、これまでmPOUの生理的意義が不明であった。本研究はmPOUの生理的意義とその機序を明らかにするものである。			
細胞培養系で内因性mPOUをRNAi法にて減少させると、PRL蛋白が減少するとともにPit-1 mRNAも減少した。また、外因性のmPOUは外因性のPit-1と相乗的にPRLレポーターのみならずPit-1レポーター遺伝子活性をも上昇させた。さらにChIPアッセイを用いてmPOUがPit-1とPRL両者のプロモーターにリクリートされることを示し、mPOUによるこれらの効果が直接であることを証明した。これらの成績は、mPOUがPRL遺伝子に直接作用する他に、Pit-1発現を増強してPRL発現を間接的に活性化する機序の存在を示唆する。			
以上のように、本研究はPRL遺伝子の発現制御について重要な知見を示すものとして価値ある集積であると認める。よって、学位申請者の戸田圭三氏は、博士（保健学）の学位を得る資格があると認める。			
論文名 : Involvement of mPOU (Brn-5), a class VI POU protein, in the gene expression of Pit-1 as well as PRL. 掲載誌名 : Molecular and Cellular Endocrinology 著者名 : Toda, K., Yamamoto, D., Fumoto, M., Ikeshita, N., Herningtyas, E.H., Iida, K., Takahashi, Y., Kaji, H., Chihara, K. and Okimura, Y. 巻(号)、頁、発行年 : 280(1-2):20-29, 2008.			